

国際交流員ウルリーケ・シュラックの

今月のウリ場

Vol.16
ドイツのお正月の
習慣



皆さま、あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。新しい年に入りました。無事に新しい年を迎えることができましたでしょうか？

日本では、お正月は1年を通して一番重要な行事だと言われていますね。日本のお正月といえば餅、おせち料理、年賀状やお年玉が欠かせないものですよね。ドイツだとお正月よりクリスマスの方が大切だと、先月号の記事で詳しく説明しました。ドイツのクリスマスの習慣についてもたくさん知ることができたと思います。

さて、今月はドイツのお正月の習慣をテーマにしたいと思います。日本または他の国と比べるとドイツのお正月の習慣や伝統は割と少ないと思いますが、あるものを集めて、皆さんに伝えたいと思います。今後皆さんの家でもやってみたらどうでしょうか？

まず、ドイツ人はお正月（1月1日）より大晦日（12月31日）の方が忙しいです。大晦日の夜は、家族より友人と一緒に賑やかに祝います。日付が変わる午前0時少し前になると、人々はゼクト（スパークリングワイン）とグラス、ロケット花火を持って外に出て新年のカウントダウンを行い、新年を迎えると同時に、花火や爆竹の音が鳴り響く中で乾杯をします。突然、知らない人にも抱きしめられ、「ゲズンデス・ネウエス・ヤァ！」（ドイツ語で“あけましておめでとう”と言う意味）と挨拶されることもあり、お互いに大喜び！若い人たちは朝まで町の中で騒いだり、居酒屋に入ったり、踊ったりします。夜明け前に家へ帰る人は少ないです。いうまでもありませんが、お正月（1月1日）には皆大晦日の疲れを回復するためによく寝ています。いい習慣ですね。

それとはちょっと違う習慣ですが、クリスマスとお正月の間に、洗濯をしてはいけません。ただ、地方によっては、汚れている洋服がまとまったまま新年を迎えてはいけないなど、先に述べたのと異なった習慣もあるそうです。新しい年が縁起のいい1年になるように、食事に関する習慣も色々あります。「お金がなくならないようにレンズ豆スープを食べた方がいい（レンズ豆がコインに似ている形だから）」、または「鶏肉を食べない方がいい（幸運が飛んでしまうから）」などです。

新しい年の運を知りたい人もたくさんいるでしょうが、私も大好きなお正月の遊び「鉛占い」もあります。スプーンの上に小さな鉛の塊を乗せて、下からろうそくなどの火であぶり、鉛が溶けたらすかさずそれを冷水にポチャンと落とし、固まった形で運勢を占います。何の物に見えるか想像しながら、楽しめる占いです。12月中旬からお店で鉛占いキットが販売されているので、とても簡単です。

占いと言えば、新しい年に結婚したい相手を見つけることができるかどうかを知りたい女性たちに、ドイツ人のやり方を教えます。自分の家の庭に行き、スリッパを後ろに投げ、スリッパのつま先が家の反対方向に向かったら、運が良いといわれています。新しい年が始まったばかりで、占いは今からでもまだ間に合うので、下野市の独身女性の皆さま、すぐに外に行き、やってみませんか？

国際交流員ウリさんの**びっくり箱** 第11回

～アルゼンチン料理・アルゼンチンのお話～

- 日 時 1月25日(日)午前11時～午後1時
- 場 所 きらら館 調理室
- 講 師 ガルディス・ミゲル・マルセロ(アルゼンチン出身)国際留学生(宇都宮大学国際学部2年生)
- 定 員 20名
- 参加費 1人500円
- 申込み 1月13日(火)から1月23日(金)までに生活課へお申し込みください。先着順ですので、定員になり次第受付を終了します。

☎40-5555 E-mail: 50002@city.shimotsuke.lg.jp